

令和3年度における推進支援策

～令和3年度「総合土砂管理の推進に関する懇談会」成果～

令和4年3月

砂防部保全課 総合土砂管理係

1. 令和3年度の実施推進支援策の内容
2. ヒアリングから得られた知見と実施事例集作成
3. ポータルサイトのコンテンツ追加

1. 令和3年度の取組推進支援策の内容

令和3年度は、総合土砂管理の取組拡大に向け、取組着手時の推進方策に着目し、既に取り組・検討を進めている先行流砂系における取組実績をヒアリングを行い、得られた知見から懇談会において推進支援策を検討。

■ 推進支援策

<取組着手時の課題>

- 土砂問題の認識
- 関係者への呼びかけ、情報共有
- モニタリングの継続実施
- 総合土砂管理の検討体制、仕組みの構築

先行流砂系への
ヒアリング

<推進支援策>

- 総合土砂管理着手時の取組事例集

<ポータルサイトの拡充>

- 上記の取組支援策等を国土交通省 砂防部のHPに掲載
- これらを参考に、各管理者による取組を推進

2. ヒアリングから得られた知見と取組事例集作成

先行流砂系のヒアリング結果について、以下の手順により検討・整理。

①ヒアリング結果概要

- ヒアリング結果について、ヒアリングで得られた情報等から着手時に役立つ支援項目を設定し、その項目ごとに整理

②ヒアリングから得られた知見(取組着手事例リスト)

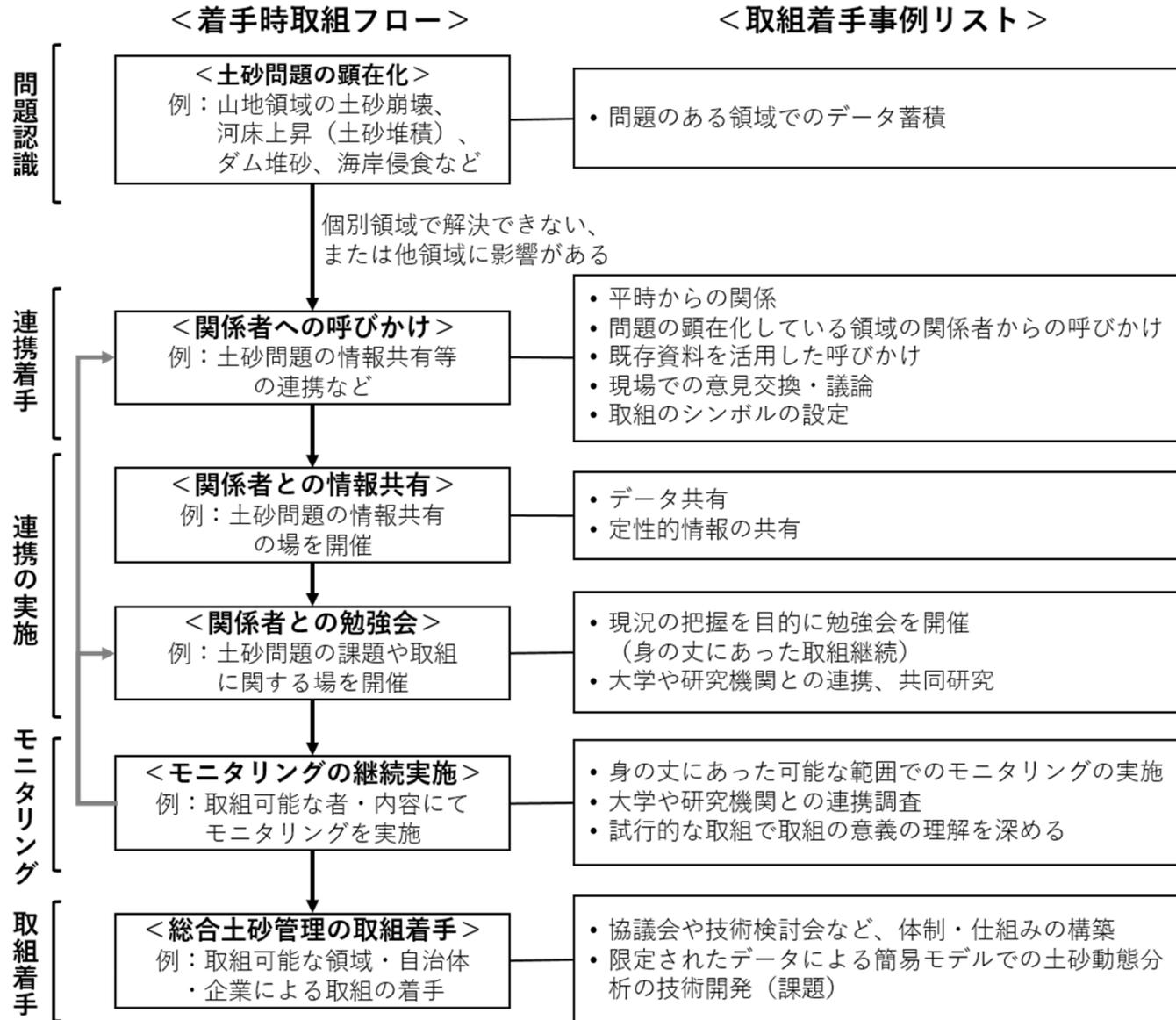
- ①の整理では、新規に取り組む流砂系に対して、どの場面でどのように活用すれば良いのか、わかりづらい
- 取組着手時の取組フローを新たに作成し、取組の場面に合わせて留意点を紐づけた整理を実施 ※次頁参照

③総合土砂管理着手時の取組事例集

- ②に示した取組の流れと取組支援(留意点)の体系に合わせて、各取組内容について事例集としてとりまとめ
→ポータルサイトのコンテンツに追加

2. ヒアリングから得られた知見と取組事例集作成

取組着手時の取組フローを新たに作成し、取組の場面に合わせて留意点を紐づけた整理。



3. ポータルサイトのコンテンツ追加

総合土砂管理着手時の取組事例集

目次

| ＜先行事例における取組着手時の場面・悩みと取組事例の目次＞ | | | | | |
|--|----------------|--|-----------------------------|----|---------|
| 取組場面・悩み | 取組項目名 | No. | 対象流域 | | |
| 【場面】 問題意識・土砂問題の顕在化 （悩み） 土砂問題の把握、データの蓄積を、どの様に 進めたら良いのか？ | 問題のある領域でのデータ蓄積 | 1 | 沙流川流域系 | | |
| | | 2 | 阿武隈川流域系 | | |
| | | 3 | 相模川流域系 | | |
| | | 4 | 黒部川流域系 | | |
| | | 5 | 手取川流域系 | | |
| | | 6 | 大井川流域系 | | |
| | | 7 | 日野川流域系 | | |
| 【場面】 連携着手・関係者への呼びかけ （悩み） 連携着手に向けて、関係者への呼びかけを どの様に進めたら良いのか？ | 平時からの関係 | 8 | 沙流川流域系 | | |
| | | 9 | 相模川流域系 | | |
| | | 10 | 黒部川流域系 | | |
| | | 11 | 常陸川流域系 | | |
| | | 12 | 安内川流域系 | | |
| | | 13 | 矢作川流域系 | | |
| | | 14 | 沙流川流域系 | | |
| | | 15 | 阿武隈川流域系 | | |
| | | 16 | 相模川流域系 | | |
| | | 17 | 富士川流域系 | | |
| 問題の顕在化している領域の 関係者からの呼びかけ | 既存資料を活用した呼びかけ | 18 | 大井川流域系 | | |
| | | 19 | 那賀川流域系 | | |
| | | 20 | 常陸川流域系 | | |
| | | 21 | 沙流川流域系 | | |
| | | 22 | 大井川流域系 | | |
| | | 23 | 那賀川流域系 | | |
| | | 現場での意見交換・議論 | 取組のシンボルの設定 | 24 | 沙流川流域系 |
| | | | | 25 | 黒部川流域系 |
| | | | | 26 | 大井川流域系 |
| | | | | 27 | 大井川流域系 |
| 28 | 日野川流域系 | | | | |
| 29 | 那賀川流域系 | | | | |
| 30 | 常陸川流域系 | | | | |
| 【場面】 連携の実施・関係者との情報共有 （悩み） 関係者との土砂問題に関する情報共有・デ ータ共有は、どの様にしたら良いのか？ | データ共有 | 31 | 沙流川流域系 | | |
| | | 32 | 相模川流域系 | | |
| | | 33 | 手取川流域系 | | |
| | | 34 | 沙流川流域系 | | |
| | | 35 | 阿武隈川流域系 | | |
| | | 36 | 常陸川流域系 | | |
| | | 37 | 手取川流域系 | | |
| 【場面】 連携の実施・関係者との勉強会 （悩み） 関係者との土砂問題の認識共有を、どの様 に進めたら良いのか？ | 定性的情報の共有 | 38 | 大井川流域系 | | |
| | | 39 | 富士川流域系 | | |
| | | 40 | 常陸川流域系 | | |
| | | 41 | 大井川流域系 | | |
| | | 42 | 那賀川流域系 | | |
| | | 【場面】 モニタリングの継続実施 （悩み） 土砂問題の把握・理解促進を図るため、モニ タリングをどの様に実施したら良いのか？ | 身の内であった可能な範囲で のモニタリングの実施 | 43 | 沙流川流域系 |
| | | | | 44 | 阿武隈川流域系 |
| 45 | 手取川流域系 | | | | |
| 46 | 矢作川流域系 | | | | |
| 47 | 日野川流域系 | | | | |
| 48 | 常陸川流域系 | | | | |
| 49 | 富士川流域系 | | | | |
| 50 | 黒部川流域系 | | | | |
| 51 | 手取川流域系 | | | | |
| 52 | 手取川流域系 | | | | |

取組事例

| 取組場面 | 連携着手・関係者への呼びかけ | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|------|------|---|------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|--|
| 取組項目名 | 平時からの関係 | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | (取組のねらい) 連携先・関係者等との関係性構築 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>■連携に向けた平時からの関係の活用のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川整備計画や海岸保全基本計画など、既存の計画検討時における関係機関との繋がりなど、これまでの日ごろの関係性を活用した関係者への呼びかけ・連携が有効 関係者の問題認識状況に応じて、全領域・全関係機関への呼びかけ・連携を目指さなくても良い。問題意識を共有できる関係機関から連携をはじめ、実績を積み重ね、徐々に拡大することで良い 総合土砂管理の取組という呼びかけよりも、土砂問題の認識共有や勉強の場づくりという呼びかけ・連携からスタートすることが有効な事例もある | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>■取組事例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事例</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.8</td> <td>(取組経過) データ共有、情報交換、認識共有、意見聴取等で他領域の関係者と日頃から関係性を持っていた 沙流川流域系：北海道開発局室蘭開発建設部</td> </tr> <tr> <td>No.9</td> <td>(取組経過) 総合土砂管理に係る検討以前より、河川整備計画策定に向けた行政連絡会や、市民団体等との会議を開催していたため、関係者に声をかけやすい状態であった。また、神奈川県は相模ダムの堆積土砂について問題意識を持っていた。 相模川流域系：関東地方整備局京浜河川事務所</td> </tr> <tr> <td>No.10</td> <td>(取組経過) 黒部川では、砂防、ダム、河川、海岸の全領域で直轄事業があり、当初の関係機関との調整・連携も課題なく、国主体で取組んだ 黒部川流域系：北陸地方整備局黒部河川事務所</td> </tr> <tr> <td>No.11</td> <td>(取組経過) 砂防領域は立山砂防事務所、ダム領域は電力会社、河道領域は富山河川国道事務所、海岸領域は富山県が関係者であり、富山県とは河川整備計画の説明を契機に連携を進めた 常陸川流域系：北陸地方整備局富山河川国道事務所</td> </tr> <tr> <td>No.12</td> <td>(取組経過) 流砂系全域が静岡県に含まれ関係自治体が1者のみであったこと、また、事業主体も、国交省（下流河川・砂防区域）及びは静岡県（上流河川・砂防区域・海岸事業）の2者と関係者が少なく、また、海岸域では県の委員会等で検討が進められていたことから、連携が容易であった 安内川流域系：中部地方整備局静岡河川事務所</td> </tr> <tr> <td>No.13</td> <td>(取組経過) 漁協関係者とは、総合土砂管理の取組以外で定期的に情報交換する場があり、そこで共有を回っている。現場では、豊田市が設立した矢作川の自然環境を研究する矢作川研究所、漁区、土地改良区と定期的に情報交換を行っている 矢作川流域系：中部地方整備局豊橋河川事務所</td> </tr> </tbody> </table> | | 事例 | 実施内容 | No.8 | (取組経過) データ共有、情報交換、認識共有、意見聴取等で他領域の関係者と日頃から関係性を持っていた 沙流川流域系：北海道開発局室蘭開発建設部 | No.9 | (取組経過) 総合土砂管理に係る検討以前より、河川整備計画策定に向けた行政連絡会や、市民団体等との会議を開催していたため、関係者に声をかけやすい状態であった。また、神奈川県は相模ダムの堆積土砂について問題意識を持っていた。 相模川流域系：関東地方整備局京浜河川事務所 | No.10 | (取組経過) 黒部川では、砂防、ダム、河川、海岸の全領域で直轄事業があり、当初の関係機関との調整・連携も課題なく、国主体で取組んだ 黒部川流域系：北陸地方整備局黒部河川事務所 | No.11 | (取組経過) 砂防領域は立山砂防事務所、ダム領域は電力会社、河道領域は富山河川国道事務所、海岸領域は富山県が関係者であり、富山県とは河川整備計画の説明を契機に連携を進めた 常陸川流域系：北陸地方整備局富山河川国道事務所 | No.12 | (取組経過) 流砂系全域が静岡県に含まれ関係自治体が1者のみであったこと、また、事業主体も、国交省（下流河川・砂防区域）及びは静岡県（上流河川・砂防区域・海岸事業）の2者と関係者が少なく、また、海岸域では県の委員会等で検討が進められていたことから、連携が容易であった 安内川流域系：中部地方整備局静岡河川事務所 | No.13 | (取組経過) 漁協関係者とは、総合土砂管理の取組以外で定期的に情報交換する場があり、そこで共有を回っている。現場では、豊田市が設立した矢作川の自然環境を研究する矢作川研究所、漁区、土地改良区と定期的に情報交換を行っている 矢作川流域系：中部地方整備局豊橋河川事務所 |
| 事例 | 実施内容 | | | | | | | | | | | | | | |
| No.8 | (取組経過) データ共有、情報交換、認識共有、意見聴取等で他領域の関係者と日頃から関係性を持っていた 沙流川流域系：北海道開発局室蘭開発建設部 | | | | | | | | | | | | | | |
| No.9 | (取組経過) 総合土砂管理に係る検討以前より、河川整備計画策定に向けた行政連絡会や、市民団体等との会議を開催していたため、関係者に声をかけやすい状態であった。また、神奈川県は相模ダムの堆積土砂について問題意識を持っていた。 相模川流域系：関東地方整備局京浜河川事務所 | | | | | | | | | | | | | | |
| No.10 | (取組経過) 黒部川では、砂防、ダム、河川、海岸の全領域で直轄事業があり、当初の関係機関との調整・連携も課題なく、国主体で取組んだ 黒部川流域系：北陸地方整備局黒部河川事務所 | | | | | | | | | | | | | | |
| No.11 | (取組経過) 砂防領域は立山砂防事務所、ダム領域は電力会社、河道領域は富山河川国道事務所、海岸領域は富山県が関係者であり、富山県とは河川整備計画の説明を契機に連携を進めた 常陸川流域系：北陸地方整備局富山河川国道事務所 | | | | | | | | | | | | | | |
| No.12 | (取組経過) 流砂系全域が静岡県に含まれ関係自治体が1者のみであったこと、また、事業主体も、国交省（下流河川・砂防区域）及びは静岡県（上流河川・砂防区域・海岸事業）の2者と関係者が少なく、また、海岸域では県の委員会等で検討が進められていたことから、連携が容易であった 安内川流域系：中部地方整備局静岡河川事務所 | | | | | | | | | | | | | | |
| No.13 | (取組経過) 漁協関係者とは、総合土砂管理の取組以外で定期的に情報交換する場があり、そこで共有を回っている。現場では、豊田市が設立した矢作川の自然環境を研究する矢作川研究所、漁区、土地改良区と定期的に情報交換を行っている 矢作川流域系：中部地方整備局豊橋河川事務所 | | | | | | | | | | | | | | |